

国語科学習指導略案（第1学年B組 男子 8名, 女子11名）

令和元年 1月29日（水）4限

授業者：田中知子・平間久勝

- 1 単元名：漢字の成り立ち
- 2 本時のねらい：『漢字の成り立ちに興味を持ち、意欲的に辞書で調べる。』（教科の観点）
- 4 本時の学習過程（第3時／全3時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が調べた漢字を紹介する。（班）</li> <li>・教科書の問題4に取り組む。 近所・折半・巨匠</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢和辞典の使い方が適切であるか机間巡視する。</li> </ul>
<p>めあて：形成文字の中には調べると、似ている漢字でも成り立ちが異なることを知る。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことを発表する。</li> </ul>	
<p>山場：なるほど、近・所・折など成り立ちが違っている、ほかにもあるのか調べてみよう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・形成という作り方で、増やされた漢字で予想を立てて、探してみる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;めあての評価&gt;</p> <p>同じ部首であるものや、同じ読みのもを予想して調べてみるができているか。</p> </div>
<p>&lt;振り返り・まとめ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北、巨が個人が調べたときに出ていなければ紹介する。</li> </ul>	